

ひきこもり、不登校、
8050世帯、孤独・孤立、
グレーゾーンなど



制度の狭間にいる人たちの 架け橋になるために ～地域のみなさんが出来ること～



支援や制度の仕組みがあっても、「どの制度・分野にも当てはまらない」、「相談先がわからない」
そんな”制度の狭間”で、困りごとを抱える方たちが地域には少なくありません。
そういった方々に対して「気にはなるけど関わり方がわからない」と思っている方も多いのではないでしょうか。
また、当事者ご本人やご家族の中にも「繋がりたい、どこかに相談したいけど一歩が踏み出せない」
そんな思いを抱えている方がいるかもしれません。

今回、制度の狭間にいる方々にどのように気づき、繋がるためにはどうすればいいのか、しんどさの理解、
繋がることの大切さなど、上村さんの実践を交えながらお話ししていただきます。

支援する・されるという関係性ではなく、誰もが地域の中でつながり、支え合える関係性とは何か。
自分事として一緒に考えられる機会になれば幸いです。

2026
3 / 14 土 10:00
~12:00

※受付開始：9:30~

日時
定員
先着
40名

費用
無料

対象
地域で活動している・したい方、支援者、
しんどさを抱える当事者・ご家族、
興味のある方など、どなたでも

会場
草津市立市民総合交流センター
(キラリ工草津)
3階 303会議室

【申込・お問合せ先】
NPO法人 宅老所心 (草津市駒井沢町343)
電話：080-7313-0543 (平日8:30~17:15)
FAX：077-558-8225
メール：kokoro-outreach@joy.ocn.ne.jp

申込締め切り：令和8年3月13日（金）まで
※人数把握のため事前申し込みに
ご協力お願いいたします。

講師



社会福祉士
上村 文子 氏

医療、保健、福祉など多分野との連携・協働を行いながら、滋賀県スクールソーシャルワーカースーパーバイザーとして教育分野における複合的な課題を抱える世帯への支援に長年携わっておられる。

その傍ら、自身でボランティア団体を設立。『公』『民』それぞれの取組みを通して両者が連携・協働する相乗効果を実感。より広がり、深まる支援のかたちを実践してこられた。現在、滋賀県子どもの居場所づくり支援体制強化事業を受託し、多分野・多職種が手を取り合うことで支援が必要な子どもや家庭が孤立しないための循環型の社会システム作りに取り組んでおられる。

今回、実践の中で見えてきた「8050・ひきこもり」対策の公助以外の共助の創意工夫の在り方、すべての人にとてのより良い「つながり」の創り方について伝えていただく。

お申し込みはフォームまたは
電話・FAX・メールからどうぞ



令和7年度 草津市アウトリーチ支援事業研修会 申込書

FAXで申込をされる方はこちらをご記入の上、お送りください。
(電話・メール・申込フォームでも申込可能です。)

FAX : 077-558-8225



締切日：2026年3月13日（金）

申込日

年 月 日

※人数把握のため事前申し込みにご協力お願いいたします。

お名前（ふりがな）	
TEL	
FAX	
メールアドレス (任意)	
ご所属団体等 (あれば)	
その他 ご質問など	

※ご記入いただいた個人情報は、研修会参加受付のみに使用し、第三者に提供することはございません。

【申込・お問合せ先】

NPO法人 宅老所心（草津市駒井沢町343）

電話：080-7313-0543（平日8:30~17:15）

FAX：077-558-8225

メール：kokoro-outreach@joy.ocn.ne.jp

お申し込みはフォームまたは
電話・FAX・メールからどうぞ

